

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門基礎分野	治療論	1	30	1年次	1月	久保田 竜生 瀧 賢一郎 吉松 俊治
授業概要 各疾患に共通な治療及びそれが身体に及ぼす影響を理解する。						
到達目標 手術療法・麻酔・放射線療法について理解する。						
使用教材 テキスト 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 ; 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 ; 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 ; 医学書院 参考文献等 その他						
評価 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
10時間・5回	1.手術療法・内視鏡的治療 1)手術侵襲と生体の反応 2)手術後合併症(術後出血、下肢静脈血栓、肺塞栓症、呼吸器合併症、感染症、廃用症候群、多臓器不全を含む) 3)術後の管理 (疼痛管理、酸素療法、体液酸塩基平衡と輸液栄養管理法) 4)術後管理の実際(心筋梗塞のACバイパス術を通して、呼吸・循環管理・水分出納管理など)					講義
10時間・5回	2.麻酔(救急法を含む) 1)麻酔が生体に及ぼす影響 (1)全身麻酔を受ける患者の管理 (2)局所麻酔を受ける患者の管理 2)救急処置法(ショック、救急処置の実際) (1)生命の危機的状況のアセスメント (2)外傷、急性薬物中毒の応急処置 (3)一時的救命処置 BLS 【実技】					講義 実技
9時間・5回	3.放射線療法 1)放射線医学 2)放射線診断(X線診断、MRI、超音波診断、核医学診断) 3)放射線治療(人体に及ぼす影響、放射線治療の方法と侵襲) 4)放射線防護と健康管理					講義
1時間・1回	筆記試験 45分間 筆記試験は、放射線療法を含む					
備考						